

## ⑧放射線の影響について

### 【会議参加者からの意見】

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
10	生活	双葉町は、本当に帰ることができるのか。家の廻りは除染しても、家の中全てが汚染されているのに、帰ってどうして生活できるのか。	01福島
13	飲み水	飲み水が心配。安全な水を飲みたい。	01福島
49	新しい町に望むこと	まずは放射能がないこと。暖かい気候。働く場所。断層がないこと。病院と医者、教育の環境。	01福島
61	仕事の再開が難しい	汚染が強く帰れないところで酪農と米作をしていたが、機械の投資をして仕事を再開するのは難しい。	01福島
63	除染	帰りたくても帰れない。放射能が終わるのに150年かかると言われればもう帰れない。	01福島
164	安全性	安全に帰ることができる地域と言われても原発の処理が安全に進むかどうか信用できないから帰れない。	01福島
275	放射能	内部被曝してしまった不安をどこにぶつければよいのか・・・	01福島
312	空気	空気がきれい(今はダメ)。	02東京
320	仮の町	仮の町は原発が収束しないうちは県内は無理。	02東京
321	原発	原発が収束するまで補償する。	02東京
340	放射性物質	プルトニウムは水には溶けないよ。どうするの？	02東京
366	情報の正しい広報	線量の正しい広報を行って欲しい。	02東京
421	放射能	放射能は目に見えないから怖い、数値もよくわからない。	02東京
424	放射能	子供や孫が戻れることが条件。若い人がいたくなる環境なら年寄りも近づいてくる。	02東京
490	医療機関	甲状腺が腫れた子どもを避難先に連れていったところ福島県医大に行くとと言われた。	02東京
501	まちづくり	原発のない町に住みたい。	02東京
552	放射能	放射能、放射線のないまちをつくらしてほしい。	02東京
553	被曝手帳	被曝手帳をそれぞれつくってほしい。測定値も正しい値を教えてもらえない。	02東京
570	放射能のない町	放射能のない町をつくらしてほしい。	02東京
602	放射線	福島県には放射線が気になり帰りたいけど行けない。双葉町は埼玉県に移してほしい。原発はまだ収束していない。あぶない。	02東京
673	放射線	双葉町の行政区ごとの汚染地図が必要。	03柏崎
674	放射線	放射線の測定をもっと細かくしてほしい。	03柏崎
701	放射能	放射能は目には見えないから怖い。	03柏崎
762	海洋汚染	双葉地区の海洋汚染の状況が知りたい。	03柏崎
768	放射能	放射能を中和する物質はないのか。	03柏崎
769	教えて下さい	事故後に持ち出した車を乗っていても大丈夫なのか知りたい。	03柏崎
773	福島漁業への不安	福島の海洋汚染について知りたい。チェルノブイリではどうだったのか。	03柏崎
774	海に関するデータ	海に関するデータを増やしてほしい。水中の瓦礫処理をしていく上で問題はないか。	03柏崎
832	問題点	元のレベルに戻してもらわなければ帰れない。	03柏崎
833	問題点	元には戻らない。草だらけ(一時帰宅したかった)。	03柏崎
844	問題点	結局20~30年かかる。	03柏崎
845	意見	直せるわけがない。	03柏崎
869	釣りがしたいけど	セシウムが非常に怖い。	03柏崎
894	相馬市のアイナメ	放射線の量が250倍も出ていた。	03柏崎
895	放射線の量	親潮の流れによって、海の放射線の量は場所によって異なる。	03柏崎
896	測定機	精度の高い測定器で測らないとダメ。	03柏崎
901	放射線	国の放射線量はどの高さまで測っているのか知りたい。	03柏崎
958	環境	放射能のない環境が必要。	04加須
1006	内部被曝	内部被曝の問題が出てきたら、また福島に戻りたいと言う若者がいるとは思えない。	04加須
1010	原発	除染もコントロールに関してもまだ？マークの原発はだめ。	04加須
1011	原発	帰れるという基本ができていない。	04加須
1062	除染	子どもがいる人は、除染しても帰らないだろう。	04加須
1083	環境	汚染されていない場所。	04加須
1091	安全	安全が確保されないと復興はあり得ない。	04加須

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1101	環境	安全は担保されるのか？	04加須
1102	生活	通常の生活ができるのか？	04加須
1105	放射能	今の双葉町は人が住める環境にはない。危険な放射能があふれている。	04加須
1107	放射能	20mSV/年以下は安全という話は信じられない。福島県に帰ってはいけな いと思っている。	04加須
1123	東電	東電の知識が低すぎる。そんな彼らに原発の管理は無理だ。	04加須
1124	東電	東電に仕事としての自覚、責任の意識が足りない。	04加須
1125	危機意識	日本人は直接感じるものしか信じない。目にみえないものなどへの危機 意識が低すぎる。	04加須
1126	放射能	放射能は見えないものなので、危機が理解しにくい。情報隠蔽などで国 を信用できない。	04加須
1131	放射線	放射線の被害、影響について広島、長崎からも学ぶべきだろう。	04加須
1132	戻るといふこと	福島に戻れば、除染という被曝をすることになる。被曝は避けたいと町 長は言っている。そこを信頼している。	04加須
1133	放射能	放射線被ばくの発症が何年後に出てくるのか心配である。3年で出てくる という話もある。	04加須
1134	放射能	放射能の影響を重くみているので県には戻れない。既存の数値に不信 感。ICRPの基準も疑わしい。	04加須
1305	若者の生活	20代の子供が生活する場所ではないと思っている。他の町での生活を考 えている。	05いわき
1355	放射線濃度	年間20ミリシーベルトで帰れると言っている国に対して、文句を言わな いのはおかしい。	05いわき
1360	汚染水	富岡を過ぎると線量計がピッピッと鳴る。汚染水が毎日出ている。	05いわき
1361	報道	放射能に関するニュース性がなくなっているのは恐い。	05いわき
1362	農業	農業用の水は汚染水とつながっているのが恐い。	05いわき
1378	汚染	汚染水があふれている。北風が吹くと心配している。	05いわき
1384	福島	放射能が恐いのはみんな同じ。でも福島を捨てられない。	05いわき
1390	水源	水源がもう汚染されてる。双葉町には戻れないだろう。	05いわき
1441	原発	現在の福島原発4号機の安全性に疑問がある。	05いわき
1442	帰還	放射能の影響が心配で帰還する気にはなれない。	05いわき
1464	一時帰宅	一時帰宅して持ち帰った衣服に放射能がついていて怖い。	05いわき
1570	放射能	放射能の心配。	06郡山
1571	放射線の不安	放射線量の基準がわからない。今後どうなってしまうのか。どのような 症状が出てきてしまうのか。	06郡山
1577	放射能	福島民報に出ている双葉町の値を毎日チェックしているが、嵐や雪で一 時低くなるが、また戻ってしまっている。やはり、放射線は魔物だ。	06郡山
1579	水質問題	今の双葉町に住めないのは、「水」の問題。浪江池が水源になっている から。	06郡山
1590	放射能	放射能の情報や、放射能についてもっと知りたいし、学びたい。	06郡山
1593	放射能	放射能についての最低限の情報、勉強をすべきだろう。	06郡山
1608	放射能	ケニアはアメリカの原子力産業の実験地で、居住できない土地になっ た。放射能について、私たちに分からないことがたくさんある。	06郡山
1666	放射能	放射能やストロンチウムを除去する装置がほしい。	06郡山
1716	安心して帰れるのはいつか	事故前の放射能レベルにならないと子供たちを連れて帰れないので、安 心して帰れるのは何十年後になるのかはっきりしてほしい。	06郡山
1766	帰還するリスク	チェルノブイリの甲状腺ガンを考えると帰還できない。	06郡山
1915	東海村の例	東海村の原発は、津波の水があと70cm高ければ冷却用ポンプが流されて いた。危機一髪だった。	07つくば
2010	役場に専門家配置	役場に原発や放射能の専門家がいなかったのか。対応窓口があるべき だった。	07つくば
2019	放射能の人体影響	放射線の人体への影響が心配。	07つくば
2026	原発事故対策	30年前双葉町に来た時、原発があるのに避難道がなぜできていないのか 疑問に思っていた。	07つくば
2030	原発の知識不足	原発について知識がなかった。町民はもっと勉強して、反対すべきだっ たと、今なら思う。	07つくば
2033	原発事故マニュアル	原発事故に会った時のマニュアルがないのがいけなかった。（避難行動、 食べ物、身体管理など）	07つくば
2037	原子力安全対策	東京電力原子力発電所の安全対策をきちんとやってほしい。安心して住 めない。	07つくば
2038	安全基準	国は放射線量の安全基準を見直すべきである。	07つくば
2039	放射能の影響(高齢者)	高齢者にとって、低線量の放射線の影響がどれ程のものか、日頃から考 えている。自由に立ち入りできるようにしてほしい。	07つくば

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2055	これからの生活	子供たちは先が長いから帰らせたくない。	07つくば
2114	放射能	各種発表では、放射能のことは押さえられているが、長い目で見て危険性について報道してほしい。	07つくば
2199	見えない恐怖	放射能のない町に住みたい。	08全体
2203	放射能汚染	東京に来て初めて病院に行った時、全身スクリーニングされて驚いた。	08全体
2234	双葉町の文化継承	若い世代は、今は放射能が心配だが、高齢世代になったら双葉町に帰りたくなるかもしれない。その時のためにも、双葉町の文化は残すべき。	08全体
2236	事故収束を願って	事故以来、原発収束に携わっている人々には感謝している。そこには地元の人も多くいるから。	08全体
2237	住みたい場所	福島でも年寄りと若い世代が離れて暮らしている。とにかく放射能がない場所がいい。	08全体
2244	放射能汚染	放射能の汚染は深刻な問題である。一時帰宅した時の服は全て捨てている。かなり注意が必要。	08全体
2250	放射能の心配	放射能が心配で全て捨てた。	08全体
2324	健康の問題	WBCの数値、みんな高い。どう考えるか。	08全体
2338	単位	放射線の単位を変えることで印象操作なんかしないで、ちゃんと報道してほしい。	08全体
2343	線量計の値表示	一時帰宅の際の線量計の値が「ミリシーベルト」に変わった。値が小さくなったように感じてしまう。	08全体
2369	双葉町に戻れないと思う理由	双葉町に帰りたいが、基本の水が汚染されている、30年は無理だ。	東京G
2377	町長への要望	本音を言えば、高齢者は放射能など目に見えないので気にならない。町長に帰りたいと伝えて欲しい。	東京G
2409	指導がない健康調査	セシウム、甲状腺健康調査後の指導がないことがおかしい。	東京G
2411	情報提供	役場より最低限の情報を出さないといけないうら、放射線量分布図を町民へ郵送すべきでないかと思っている。	東京G
2423	警戒区域解除になったら？	警戒区域が解除になったとしても、収束していない原発が（政府は収束宣言しているが実際はしていないと考えている）近くにある状態で、そこに戻る気はない。	東京G
2424	除染をしたら？	除染で放射線量自体が下がったとしても、まだ危険な状態の原発が近くにあることには変わりがないので、完全に廃炉になって安心できるまでは戻る気はない。	東京G
2427	原発からの距離	とにかく原発の近くはいやだ。仮の町を作るならとにかく原発からできるだけ離れているところがいい。最低でも福島原発から東京くらい離れている距離感がないと不安。	東京G
2433	双葉町に戻ることに	双葉町は線量が高く、戻るなんて考えられない。	東京G
2458	忘れられること	何か他の大きなことが起きたら、この震災・原発事故のことを忘れられてしまうのではないかと恐い。覚えていて3、4年か。そうすると廃炉作業だって最後までやるかどうか疑わしい。	さくらG
2467	放射能の影響	放射能の影響はこれだけの事態は未体験なので、結論が出にくいだろう。これは、年代によって認識が違うように思っている。	さくらG
2468	子供は連れて行けない	子供、娘には事故後の自宅を見せていない。あんな放射線量の高い所には行かせられない。	さくらG
2469	働く人もいない	双葉町では、放射能の影響のイメージで（外から来る）働く人はいないのではないかと。	さくらG
2470	放射能について	放射能について、県やNPOなどが講習会などをやっているが普通の人はわざわざ行かない。放射能を怖がっている人だけが行くと思う。	さくらG
2471	チェルノブイリとの比較	テレビや雑誌ではチェルノブイリとの比較ばかりしているが、そんなにひどいとは思わない。ただ、そういうことは頭に残ってしまう。	さくらG
2472	自分は何を食べてもよいと思う	自分は何を食べてもよいと思っている。先日、汚染が出たといわれていたが、自分で作った干し柿も食べた。	さくらG
2473	毎日掲載しているこの値って何？	この仮設でも、線量について毎日数値を紙に記入し、掲示しているが、その値が意味すること、そもそも何なのか、実は何もわからない。「勉強会」をしないとみなさんに伝えられないし、全く正しく知られていない。インターネットを見る人が多いわけではないので余計に情報がない。	さくらG
2474	放射能について知らずに議論はできないはず	放射能について、何も知らないのに、そもそも帰る帰らない議論をできないのではないだろうか。	さくらG
2506	原発事故	チェルノブイリ事故とは少し状況が違い、比較も難しい。	さくらG
2507	放射能について	今は放射線の数値を測定しているが、今まではどうだったのか。	さくらG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2516	帰還について	正しく知って正しく怖がる必要がある。住民の教育も大切。自ら判断できること。	さくらG
2517	原発事故対策	防災訓練は何の役にも立たなかった。ピーピー音が鳴っていただけだった。参加もしていなかったが。	さくらG
2558	仮の町を決める上での希望	できれば、浜通りには住みたくない。大きな地震が発生したら原発4号機が心配。	日和田G
2559	仮の町を決める上での希望	いわき市には住みたくない。原発や東海村があるから怖い。郡山市は避難ルートが多い。	日和田G
2622	仮の町を決めるうえでの希望	原発が収束していない（4号機の燃料棒など）のに浜通りへの移動に不安がある。風向きによっていわき市も危険である。	会津若松G
2623	仮の町を決めるうえでの希望	使用済み核燃料が山積している（第2原発も含む）。あれだけの地震を受けて全くダメージが無いはずがないので、浜通りは危ないと思う。	会津若松G
2695	双葉町への帰還について	廃炉作業が終わらないうちに帰るのはすごく気持ちが悪い。現在だって温度が上がったり下がったりしているのに「10年後帰れる」という話ではない。	北幹線G
2696	双葉町への帰還について	原発が落ち着かないうちに町民が双葉町に戻って、万が一メルトダウンしたら町民が危険にさらされる。	北幹線G
2718	東電の補償について	賠償問題が決着しなければ、次の生活を始められないので早く決めてほしい。うちは線量が高くて40マイクロシーベルトもあるので帰れない。	北幹線G
2719	双葉町への帰還について	うちの線量は20マイクロシーベルト、お墓のあたりは40マイクロシーベルト位あるので、帰って住むことは考えていない。	北幹線G
2780	双葉町への帰還について	双葉町は、現在も20マイクロシーベルトもあるのだから、子どもや若い人（親の世代）はとも住める環境には戻せないと思う。	さくらG
2835	双葉町への帰還について	加須で大学教授が言っていたが、1マイクロシーベルトまで下がるのに160年かかるそうだ。だから双葉町に帰ることは難しいと思う。	南台G
2913	健康面への不安	東電の被曝線量の積算が理解できない。毎年3月31日でリセットされるので厳密に年間の被曝量ではなく年度の被曝なのは疑問がある。双葉町の町民にもその計算方法になるのはまずいのではないか？	南相馬G
3018	これからの生活場所の希望	双葉町に戻れたとしても、子どもたちは戻らないと思う。なので、子どもたちが帰って来られる中通りに家を求めたい。	白河婦人会H
3035	帰還の可能性	完全に除染ができれば双葉町に戻りたいが、それは不可能だと思う。	埼玉G
3042	若い家族が希望する場所	若い人は福島には帰らないと思う。自分も子供は絶対に連れて行かない。	埼玉G
3043	放射能の影響がない場所	福島に住むことは考えられない。年中身の回りに放射性物質がある生活はできない。	埼玉G
3121	仮の町の場所	町がどこかに復興するとして、各町村が合併する可能性も高いけど、原発自体が今の段階で大丈夫なのか。ただ水を入れて冷やすだけではダメだと思う。	埼玉G
3125	仮の町に住む条件として	福島県内にできたとしたら、娘には行きませんと言われるだろう。放射能があるところには行かない。	埼玉G
3132	放射能の影響への不安	避難するときも、子供（孫）が小さいからこそ、何も持ってきませんでした。放射能だから持ってこないでと言われた。なので、何も持ってきていません。避難するときもスリッパで出てきたので。	埼玉G
3133	放射能の影響への不安	一時帰宅は一回だけ行って、書類などは持ってきた。	埼玉G
3134	放射能の影響への不安	孫が小学生なので、買ってくださいと娘に言われている。持ってこれるものがあったって持ってこれない。	埼玉G
3135	放射能の影響への不安	放射能に対しての不安は強い。うちは厚生病院のそばにある。一番最初に一時帰宅で行ったとき、線量計を個人で持って行き、測定してみると27ありました。2回目か3回目行ったときは、みんなはそんなじゃないっていうんだけど、5時間で17くらいだった。	埼玉G
3136	放射能の影響への不安	娘は放射能を嫌がっている。子どもに対して嫌なものなので、持ってきても、ちょっとした衣類も洋服ダンスの奥にあったものも外に出して、洗濯してクリーニングしていた。	埼玉G
3137	放射能の影響への不安	若い方は、放射能についてどう考えているか。	埼玉G
3138	放射能の影響への不安	そんなに敏感になる必要もないのかなと、技術者として思う。数マイクロでそのまま死ぬとはありえない。敏感になって逆にストレスをためる方が悪い。国民みんなが敏感になってしまって、少しでもあるからいけないっていうのがおかしくて、宇宙線とか常にあるので全てがだめってわけじゃない。そこは間違いなく、いろいろな報道されるので踊らされず、自分で勉強してもらえれば、それでいいと思っている。	埼玉G
3139	放射能の影響への不安	子供の親になれば住めないと思う。影響が出るのも何年か経ってからと聞く。	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3140	放射能の影響への不安	5年後というが、それも定かではない。それまで5年間、不安に過ごすことがストレスになる。福島市で子どもとストレスを抱えて過ごすよりは、他に行った方がいい。	埼玉G
3141	放射能の影響への不安	福島、郡山みんな線量が高い。除染をしているけど、子供がかわいそうだと思う。早く除染して、中間処理場を持って行くべきかなと思う。いつまでやってもまとまらないし。まとまらなかったら、あの福島の子ども達はどうするのか。	埼玉G
3142	放射能の影響への不安	昨日もテレビでやってたが、土日に郡山に子供が帰ってくる。外に出さない。大人が1だからかまわないが、子供は三倍。未来の子。	埼玉G
3143	放射能の影響への不安	チェルノブイリを見たら、そんなでもないかなと思う。あそこに1週間くらいいたそうで、ソ連軍が知らされないまま死んでいたと。	埼玉G
3144	放射能の影響への不安	そんなに気にするほどでもないのかな、いや、でも気になる。目に見えないものだから気にする。	埼玉G
3145	放射能の影響への不安	自分の子どもだったら誰でも気になる。それが郡山で現状そうなんだから、双葉町だったらもっと大変だろう。	埼玉G
3146	放射能の影響への不安	いじめられた子供が二本松の学校に戻ってきているらしい。	埼玉G
3147	放射能の影響への不安	私たちばかりに責任負わせるなどと思う。核燃料税は福島県全体に入っていた訳で、福島県でビッグパレットとか会津大学とか、そういうところに使っていた。	埼玉G
3197	一時帰宅で思うこと	服、仏壇、墓、家のあちこちの修繕の補償は難しい。放射能の不安と愛着。	埼玉G
3199	帰町について	早く帰れるかどうか、原発次第だと考えている。	埼玉G
3200	帰町について	ブルトニウムが落ちているところが、4力所か5力所がある。完全に帰れるまで150年と聞いた。6号線のあそこが一番高い。	埼玉G
3202	帰町について	入れない。何百年かかるだろう。みんな怖がって来ないだろう。東京とかの線量が高いホットスポットはよけて通るくらい。	埼玉G
3203	帰町について	核燃料をとらない限りはどうにもならないと思う。	埼玉G
3209	現在の避難地までの経緯	爆発したとき、なぜみんな車でなく歩いて逃げたのか。浜街道の5.5mの道路幅では車のミラーがぶつかる程度。お願いだから道路を早く造ってくれと、東京電力に何度も言っていたが、それもやらなかった。歩いて逃げるなんて一番原始的であり、そういうことまでさせた代償は大きい。	埼玉G
3212	放射能の影響への不安	燃料棒をそのまま置いてあって危ない。移動してきっちりしまえる所をつくった方がよっぽどいいと思う。	埼玉G
3274	町長の判断は正しかった	福島に残っている人たちは、安全とは言い切れない。この埼玉に来て安心している。町長の選択は正しかったと思う。	埼玉G
3302	放射能から身を守る	自分の体は自分で守る！	埼玉G
3312	避難道路の問題	避難道路が1本しかないため、原発からの避難の時に時間がかかり大変だった。	埼玉G
3318	福島へ戻ることへの疑問	役場機能がいわき（県内）に戻ることに対しては、確実に安全な場所というのなら良いが、なぜ、わざわざ放射線が高い県内に戻すのか疑問。（集まって住みたいと思うかどうか）	埼玉G
3320	いわきでの生活の不安	いわきの農産物だって、安全とか言われても全ての農産物を検査してるわけではないだろうし、安全かどうか分からないから、いわきに戻っても食も水も心配。	埼玉G
3321	一時帰宅	今、一時帰宅で家に帰っても何も持ってくるができない。（時間もなし、室内なのに線量が高いものが多い）	埼玉G
3332	原発事故	震災が起こる前から「もしかしたらこういうことがおこるかも知れない」という想いは頭のどこかにあった。でも、自分が生きているうちにはないと思っていたところがある。	埼玉G
3335	被曝の不安	自分は被曝していると言われた。周りには言えないけどがっかりするときもある。	埼玉G
3418	原発について	5、6号機は廃炉にしてほしい。	つくばG
3442	山古志村復興の例	山古志村の話が出たが、山古志村は原発がないので復興ができる。でも双葉町は違う。	つくばG
3460	今後の生活場所について	福島に戻りたい人は別の気持ちもあると思うが、自分は子供のことがあるので戻るつもりはない。	つくばG
3466	帰町について	「ふるさと双葉町」と言っても、汚染されたところに戻ろうとしているのは間違っていると思う。	つくばG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3475	つくば定住に向けた行動	<p>ここつくばに住みたいという要望を出していくべき。  まちは、住宅や仕事、病院、学校が揃っていないと成り立たない。  ここならそれを心配する必要がない。  線量が高いので、双葉町には100年、200年帰れないと思っているので、  移住するしかないと思う。</p>	つくばG
3508	放射能について	内部被曝して300ベクレルもあった。	つくばG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイノート
1	7000人の復興会議について	7000人の復興会議、町民の皆様個々のご意見を聞かせていただき、非常に良いことと思う。双葉町を離れてこれまで一度もなかったことであり、是非対話会に私も参加していきたい。 私自身、将来は双葉の地に戻りたいと思うが、今すぐ放射能に汚染された双葉町に帰りたいたとは考えていない。一定期間経過後放射能を除去し、それからが良いと考える。それまでの間、どうするか。やはり仮の町は、放射線を感じることをなくのびのび暮らせる所がよいと考える。いろいろ放射線量について言われているが、年間1ミリシーベルトは厳守。町民がまとまって住める場所、町としての機能があるコンパクトシティ、町人口から考えるとできれば1ヶ所と考えるが、2ヶ所もやむを得ないと考える。ただ、町としての機能はそれぞれに持ちたい。 子供達がのびのび学べる教育施設、病院を核とした健康福祉施設、にぎわいをもたらす商業施設、働く場としての農工業施設、町をリードする行政施設、交通弱者のための交通手段、等々検討していかなければならない。 何年になるか分からないが、仮の町とは言うものの生活の上では仮を感じさせないコンパクトシティであるべきと考える。 行政としてこれから取り組まなければならない、仮の町への法整備、受け入れていただける市町村との連携等、多くの課題はありますが、お待ちしております町民の皆様喜んでいただけるシティづくりをしていきたい。そのためにも7000人復興会議を成功させたい。	ノート
14	原発事故	私は双葉町で生まれ、双葉町の小中高校と通い、24歳で結婚するまで双葉町にお世話になりました。子ども時代の事、歩いた道、遊んだ場所、通った店、通学途中の友達の家等々いろんな事がよみがえってきます。双葉高校一年生の時だったと思いますが、学校の行事（遠足？）で先生に引率され、「ここが原発が出来る所だ」と飛行場跡へ行ったことがありましたが、44年後に双葉町におられなくなることになるなんて！私達はもっと詳しく原子力発電というもの、放射能汚染というものがどういうものなのか知っておくべきでした。知らされているべきでした。なぜこのような事になったのか知りたいと思います。	ノート
30	食料品の放射線量検査について	米の全袋検査、野菜、魚の放射線量の検査というが信用出来ない。基準値以下といってもないわけではない、と思うと、何を食べたらいいかわからない。	ノート
31	双葉町の自宅の放射線量の計測	双葉町の自宅の放射線量を測ってきてほしい。自宅の複数箇所を定期的に測って記録してほしい。	ノート
45	放射線影響への不安	将来放射線による健康への影響が心配。因果関係を解明する研究をしてほしい。また、健康障害がおきた時の救済措置を考えておいてほしい。	ノート
52	水の放射能汚染	放射線を含んだ水が川に流れていくと思う。浜通りの水は安全なのか心配。	ノート
53	放射能影響に関する独自の体制づくり	東電・国の発表を信用できない。信用できる組織・研究機関があればいい。	ノート
68	原発は収束するのか	原発内では、超高放射能のウラン燃料が溶けてむき出しになっている。かろうじて、水を注入して、冷やして放射線量をおさえているに過ぎず、とてもじゃないが、収束していないのは明らか。溶けた燃料を取り出せるのだろうか。更に双葉町と大熊町を中間処理施設を作り、放射性ごみを保管するとのこと（最終施設をどこにするか決めずにいるのもよくない）。このような環境の中、危険なそばに、帰宅して、はたして生活出来るようになるのだろうか疑問です。	ノート
73	処分場について	安住の地が高濃度に汚染されてしまい、本当に残念で仕方がない。だからと言って、除染されても子供を連れて戻って暮らそうとは思わない。戻って暮らしたい人が沢山いるのは分かるが、中間処分場も最終処分場も東電周辺の土地に造るべきだと思う。ズルズルしていても時ばかり過ぎてしまう。ただ、町長のやっている事に関して理解はできるので、非難はしたくない。	ノート
117	山菜	山菜、竹の子、ゼンマイ、コゴミなど取っていたのに放射能が残念だ。とることが楽しかったのに。原発がにくたらしいよ？	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート																																													
137	双葉町内の空間線量測定結果について	<p>11/8 山田農村広場21.010<math>\mu</math>Sv/h、石熊公民館9.849<math>\mu</math>Sv/h。山手の方の汚染度の多さに気付かされます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">双葉町内・応急仮設住宅等の空間線量測定結果について</p> <p>文部科学省では、双葉町内の空間線量の測定を行っております。</p> <p style="text-align: center;">測定日時: 11月8日(木) 12時00分 単位: <math>\mu</math>Sv/h(マイクロシーベルト毎時)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2"></th> <th>毎時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>波川公民館</td><td>1.208</td> <td>北部コミュニセン</td><td>3.818</td> <td>中田公民館</td><td>0.691</td> <td>両竹公民館</td><td>0.495</td> <td>0.495</td> </tr> <tr> <td>寺松公民館</td><td>2.965</td> <td>上羽鳥公民館</td><td>—</td> <td>羽鳥公民館</td><td>1.587</td> <td>長塚二公民館</td><td>2.611</td> <td>2.611</td> </tr> <tr> <td>双葉町体育館</td><td>4.970</td> <td>双葉総合公園</td><td>2.333</td> <td>郡山公民館</td><td>1.241</td> <td>浜野公民館</td><td>0.295</td> <td>0.295</td> </tr> <tr> <td>石熊公民館</td><td>9.849</td> <td>山田農村広場</td><td>21.010</td> <td>三宇公民館</td><td>2.486</td> <td>頼谷公民館</td><td>1.814</td> <td>1.814</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 山手の方の汚染度の多さに気付かされます。</p> </div>									毎時	波川公民館	1.208	北部コミュニセン	3.818	中田公民館	0.691	両竹公民館	0.495	0.495	寺松公民館	2.965	上羽鳥公民館	—	羽鳥公民館	1.587	長塚二公民館	2.611	2.611	双葉町体育館	4.970	双葉総合公園	2.333	郡山公民館	1.241	浜野公民館	0.295	0.295	石熊公民館	9.849	山田農村広場	21.010	三宇公民館	2.486	頼谷公民館	1.814	1.814	ノート
								毎時																																								
波川公民館	1.208	北部コミュニセン	3.818	中田公民館	0.691	両竹公民館	0.495	0.495																																								
寺松公民館	2.965	上羽鳥公民館	—	羽鳥公民館	1.587	長塚二公民館	2.611	2.611																																								
双葉町体育館	4.970	双葉総合公園	2.333	郡山公民館	1.241	浜野公民館	0.295	0.295																																								
石熊公民館	9.849	山田農村広場	21.010	三宇公民館	2.486	頼谷公民館	1.814	1.814																																								
143	放射線量の安全基準に関する見解	<p>政府が安全基準を自分の都合で変えるので信頼ができない。事故当初は20mSと表明したり、1mSとなったりしている。現在は1mSの基準となっているようですが、この年間基準を時間基準に換算する計算にも疑問があります。帰還宣告の基準を換算するなら下記の計算式に従うべきと判断します。すなわち</p> $1000 \div 365 \div 24 = 0.114 \mu\text{S/h}$ <p>政府はこの値を0.228としています。それは12で割るからです。考え方は、1日のうち外で生活するのは12時間と見ているからです。一見正しように思えますが、もし、帰還して生活するなら長い目でみれば外も家の中も一樣になります。なぜなら、靴に付着して放射性物質は家の中に入ります。季節によっては「薫風」も家に入れます。自分の都合の良い計算をして「安全基準」を甘くするのは住民無視の感覚です。「早く安全宣言」を出して「責任」を逃れたい気持ちが透けて見えます。商売をする人から「二種類の分銅」を使い分けられたら誰でも「怒り」が生じます。「二種類の分銅」を使い分けられているかの様な「政府の安全基準」は信用しません。そのため、私の心の中の安全基準は0.114<math>\mu</math>S/hです。除染の基準もこの数値を考えます。そもそも、この値は原発事故が生じる線量の2倍の値であることも忘れるべきではない。</p>	ノート																																													
146	原子力発電所の事故に関して	<p>3月12日から15日にかけて、1号機～4号機で爆発が生じました。この件に関して、各種の報道機関からの情報しか、私たちが判断できる資料がありません。それでも、それらから私なりに判断した見解を述べ、今後の「身の振り方」の材料としました。</p> <p>1年9ヶ月が経過した時点においても、原発からは154テラベクレルの多量の放射能が放出されています。これらは「汚染水」となって保管されている状況です。廃炉が完了する何十年もこの状態が続くのか、確かな見解を誰一人として示していません。圧力容器や格納容器から抜け落ちた、人間の手に負えない状況が生じている以上やむを得ないことです。汚染源の半径20キロメートル以内に定住する事そのものを考える方が理に合わない。理に合わないことを進めようとする政策そのものの価値を疑っています。</p> <p>双葉町から「高濃度放射能汚染から身を守れ」と題する「ポスター」のようなものは郵送されてきました。原子炉建屋の爆発状況は明らかに、3号機は他と異なっています。3号機は「黒い煙」です。3号機が爆発したとき、首相官邸が「水素爆発」と表明したことに、東京電力がその意見に「便乗」した経緯が報道されていました。素人が見ても、明らかに異なる事象を「官邸がそう言うのなら、そうしよう」とした、当事者の無責任さにはあきれざるばかりです。だいたい、250kmも離れた、首相官邸が判断できるのも不思議なことです。</p> <p>ほどほど左様な「指導者」たちに「自分の身を委ねる」のは知恵の無い事と思えます。「盲目の案内人に従ってゆけば何が明らかになるか、少し考えればわかります。両者とも穴に落ちる」だけです。もちろん私は、「善良な国民」を自称しています。法に従います。税金も法にのっとり納めています。幸い、自由な意見を述べられる事を感謝しています。</p> <p>私の生きている時代に「真の復興」の実現を努力しても「空しいだけ」と判断します。復興は50年後、100年、200年後の人たちが「核物質」が安全になったときに考慮すべきです。それまでは、原発全体を大きな池の中に沈めて「待っている」。政府は、その政策を考慮すべきと考えます。政府はその対処の責任も担うべきです。</p> <p>「核物質」を甘く見た人間に自然が「しっぺ返し」をしている姿に気がつかないで、まだ、自然に逆らって、「管理」しようとする「悪あがき」は「高慢」以外の何者でもありません。双葉町の復興を7000人の会議で決めても、根本的解決策は何も見つからないでしょう。</p>	ノート																																													

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
148	事故原子炉の冷温停止 に関して	<p>2011年12月に内閣総理大臣は福島第一原発の原子炉に関して「冷温停止」を「宣言」されました。一国の総理大臣が宣言したにしては、余りに「パフォーマンス」的な色彩です。原子炉の冷温停止は健全な原子炉が正しく管理されている状態を指すのに用いられる言葉です。どこが健全なのでしょうか？どこに正しく管理がなされているのでしょうか？1年9ヶ月を経過したにもかかわらず、145テラベクレル/日の放射能が放出されている事実は何を物語っているのでしょうか。</p> <p>1~4号機どれにも作業員が近づいて検査すらできない状況が「冷温停止」なのでしょうか？国民に間違っただけで自分たちは間違いないと仕事をしていると言いたいのでしょうか。「冷温停止」宣言がなされても情報はまったく変わりません。「警戒区域」が解除されるわけでもありません。「警戒区域の見直し」も同様です。新たな見直しが宣言されてもその時点で何かが変わるわけではありません。私たちが期待するのは、それら「宣言」によって生じる「事態の変化」です。「宣戦布告」が宣言されれば、「空襲」を覚悟します。「戦争終結」が宣言されれば「平和」を確信します。「冷温停止」や「区域見直し」が宣言されても実質変化が何も期待できないので「パフォーマンス」としか写りません。「なんと情けない国なのか」と感じています。「宣言」は諸外国に対する印象付けが目的なのか？「平和だ、平和だ、と言っているのに平和が無い」「事故収束と言っているのに収束していない」選挙のときだけ「声をあげて主張する」こんな政府のもとで生活している国のどこに夢があるのか？ひと時代前の歌の文句ではありませんが、「右を向いても、左をみて、〇〇と〇〇〇の絡み合い、どこに男の夢がある」の状態です。</p> <p>事故が収束していない状態で、復興を議論するのは賛同しかねます。まずは、危険な汚染源をなくして下さい。物事はそこからです。</p>	ノート
158	双葉町の場合	<p>徐々に放射能が低くなっているとはいえ、いつかまた爆発しかねません。とても安心して住める町ではありません。私は戻るつもりはありません。</p>	ノート
159	生活する場所の気候風土のこと、放射線などの安心安全にかかわること	<p>私達 原子力のある近くの町には住みたくありません。放射線の影響のない安全で安心して住める場所で生活を送りたいです。そのためには早くこれから先の事、先に進まない町民はどんどん離れていき双葉町はなくなってしまいます。福島県内に仮の町を計画してほしいと思います。</p>	ノート
216	これからの生活	<p>私は、H23.3.15以降、神奈川〇〇市を経て、同4月より埼玉県〇〇市の県営住宅に御世話になり避難生活を続けております。避難生活は不便な点もありますが、双葉町の自宅で生活が出来ないさみしさ等以外は家族も大きな問題もなく過ごしております。</p> <p>震災以降家の状況（三度の一時帰宅）及び発電所の状況、国及び東京電力の対応等いろいろ考えますと福島県双葉郡の未来の展望について、とても希望のもてる状況ではないように思えます。結論から申しますと、我々家族は双葉郡が原子力発電所の事故以前の状態に戻らない限り、自宅に帰る事をあきらめております。</p> <p>今回復興会議により、町民の意見提案の募集という事ですが、町民それぞれ事情、意見があり、統一する事は非常に難しい事と思われまふ。もとの生活に戻れるならば、それにこした事はありませんが、その為には長い時間と大きな問題を解決していかなければなりません。私もH25.3月には60才となります。新しい人生をスタートしなければならぬと思っています。</p>	ノート
238	放射線について	<p>世の中の情報がさくそうしており、どの程度であれば問題ないのかわからない。子供たちが安心して暮らせるかわからないなか、帰宅はできない。きちんと決定、説明して欲しい。また、内部被ばく検査もおそすぎる。すでに、ヨウ素はなくなっているのでは？</p>	ノート
253	放射能の無い海にしてみらいたい	<p>震災前の何もない放射能の無い海にしてみらいたい。私、震災前は何も起こらない町でした。私達の海は六選に選ばれた町に住み40年近く、双葉町で商売を営んできました。でも何も無い町でも人情深い町の人が好きです。自然に大変恵まれて私大好きです。山の幸、川の恵、海の恵にめぐまれて、大変大好き！！山は苦手だけど、海釣りは大好きで、シーズンになれば夜中だろうと早かろうと苦になりません。でもその趣味も奪われ、地元に戻る事もできない。それもこれも、東京電力、国、政治が憎らしい。私達の落ち着いて住めるところを早くみつめてほしいです。早く、元の双葉海水浴場にして、日本全国から来てくれる日を待っています。いつになるか分からないけど。</p>	ノート
256	私の一人言	<p>早く孫達と原発が無く、放射能も無い場所で暮らせる日が私が生きてる間に夢が叶う事がいつ来るか分かりません。私自身ではむりかな...と思っています。毎日、今の住んでいる所は、どんよりとした天気で雨や風、雪で来年3月頃まで太陽は出ません。もうこんな生活はいやです。早く孫達と暮らしたいです。国と東電が一番憎いです。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
258	住みたいところ	子供達が安心して育てることができる放射線の影響のない安心な土地に住みたい。私、60才をこえているのでこれから未来に自分の子供、孫、ひ孫、玄孫が安心して放射線のない町で元気で生活を送ってもらいたい。国政は本当に無責任だ！！	ノート
311	望む・原子力発電所0（ゼロ）を	原発の中で20年間働いた者として、建設中の時は農業＋農外収入もあって良かった。 農作業も機械化され楽になった。しかし建設も終わり運転に入れば、こんどは技術を持った都会の人、地元は若い人の採用もあったり、また電源三法のお金で道路も良くなった。町に多額のお金も入り、町も財政面でも良くなり栄えた。「住んで良かった。双葉町」といわれる様になった。 今、こうして災害で避難してみれば、東京電力（株）も、もっと早く津波に対して防護壁を作るべきだったと思う。福島原発災害が世界の原発を危険なものに、危険なものとしてしまった。青森の大間原発建設も函館市の反対（30K圏内）もあり、今後どうなるか。 財政を仰ぎ、街（町）つぶされる 自然の力を 甘く見るな	ノート
313	廃炉について	もう、双葉郡の地域に原発はいらない この原発災害で避難し苦労した事を考えたら、もう原発は0にすべき。今となれば考えが甘かった。残った第一の5号機から6号、富岡の第二の1号機～4号機も廃炉すべきだ。 これから先 平和に暮らす事だ。 原発があれば、いつか必ず二の舞になる 絶対安全安心はない 自分の人生のなかで避難生活でくずれた亡くした暮らしとは何んだ 太平洋戦争中の「疎開」（そかい）都会の人達が田舎へ移った時代を思う。 見知らぬ地方へ戦災をさけて暮らしたあの時代を思い浮かぶ。	ノート
334	東電の福島復興本社	双葉地方に広野火災発電所がある。福島県へ「東電福島本社」を建てるなら広野町か楢葉町へ建てるべき。 双葉、大熊、富岡の第一と第二は廃炉すべき。 これからは海岸線に風力発電が設置されれば良いと思う。 発電所は福島、本社は東京では、離れていては何かと不便。目の届く所にあるべき。 福島県には水力も火力の発電所もある。 線量が少し高ければ除染せよ。 双葉郡地域を復興させる手立てはこれしかない。	ノート
337	週刊誌の「週刊現代」11月24日号	ロシアのチェルノブイリの記事を見る。 原発の廃炉と除染の難しさ。それに内部被曝。線量の高い畑で作る野菜やきのこ。生きる為に食べるのかも知らないが、日本、福島も同じ。 今、原発事故から1年8ヶ月過ぎても、除染の技術も方法も見出せないでいる。 この世の中に絶対安全安心など有りえない。こんな言葉は信用出来ない。日本の原発事故はこれが初めてで最後にしたい。それには廃炉しかない。 二度起きたならば日本は終わりだ。原発を動かしていれば、また起きる。 あした起きてても不思議ではない。 いつの日か、また来る地震や津波で二の舞を見る。二度この災害を見たら日本人はバカだ。世界一のバカな人間と呼ばれるであろう。	ノート
367	双葉には戻れない	先日一時立ち入りをしてまいりました。1時間半程度の滞在時間、（室内1時間屋外30分）2人での立ち入りでしたが、それぞれ3マイクロシーベルト、4マイクロシーベルトでした。地区は下条。年間量にすれば、20ミリシーベルトを若干超える程度でしょうか。汚染されていない土地で年間1ミリシーベルトであるとすれば、20ミリはやはり高いと思う。“双葉町からのお知らせNo. 400”の木村真三先生の講演記事を読みました。線量のばらつきが大きいので住めないのではないかとのご意見でした。被災した原子炉をかかえる発電所から3kmという場所は、今後廃炉に向けての作業の中で仮に事故が発生した場合、その時双葉に帰還していたら、再度避難を強要されるはず。除染は山田石熊等、山間部の汚染が高いことを思えば町の中を処理できても川を介して再度汚染が進みそうで効果は疑問ではと感じます。以上のことから個人的には双葉には戻れないと思う。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
370	帰還の危険性	国は避難指示解除地域を徐々に増やし帰還の促進、賠償の打ち切りをすすめるであろうし、町の仮の町構想も帰還が前提だと思う。仮に除染が順調に進み避難指示が解除されるとして、それが何年後なのか。その後のインフラ修理にどれだけの期間が必要なのか。それを思いつつ自分の年齢(50代後半)を勘案すると、戻れないだろうとも思う。仮に避難が解除されるステージに達したとしても、震災前の双葉より放射能汚染は高濃度であろうことでしょう。そこに50歳代の私が戻るならまだしも、幼児や小学生を帰還させる行為は、国の認めたことだし、判断も別れるだろうし、それぞれの家族の事情だろうけど、双葉町民を危険にさらす行為に私には思える。	ノート
372	帰還の可能性	除染などを行っても帰還の見通しはいまだ見えない現状、たとえ帰還できても町内中心部の放射能濃度はそれなりに高そうであること、中間貯蔵施設造成の要望があること、双葉が本当にきれいな空気の状態になるのには何世代か必要になりそうだと個人的には思うこと、とすればその時双葉が戻るべき故郷とする人々はもう存在しない。	ノート
378	戻る気はない	自分たちも双葉町に家を新築し、1ヵ月しか経ってないので、夢や希望などを残してきているが、今回の件でつらい思いもしている。小さな子どもも居るので申し訳ないが双葉町に戻る気はない。早く賠償が進み、次の生活に移りたい。それだけです。	ノート
477	各世帯に線量計を配布してほしい	今、住んでいる場所の線量を計測したい。浪江町では各世帯に線量計が配布されているが、双葉町では配布されないのか…？ 一家族の一つあると、住んでる自治体の広報では記載されていない場所でも計測でき、多少は安心できると思います。	ノート
485	仮の町について	福島県内がいいと思いますか？(県外でも良いと思う)。どのくらい人が仮の町にすむんでしょうか？ 仮の町にすむ人は少ないと思います。放射線の影響で少ないと思う。5年先か10年先かわからない。10年か20年か？先が見えない。	ノート
486	放射線	福島県内は放射線など高いので本当に安心なんでしょうか。子供が安心して生活できるんでしょうか？心配です。安全な土地にしてください。役場と仮の町は県外でも良いと思う(福島県内は放射線が高いからダメ)。	ノート
501	避難用道路	私は会津に勤務していた時、上司からそろそろ地元に戻りたいかと聞かれ、双葉町には原子力発電所があるので、あまり帰りたくない気持ちになれない、できれば住みたくないと言ったことを思い出した。もし事故が起きて逃げようとしても国道288号、114号線どちらも渋滞で動けなくなる。どうして、国や県は避難用道路を整備しないのか、地元でも要望しないのか、ずっとそう思っていた。しかし、現実に事故が起き、予想どおりになってしまった、これからでも遅くない。本当に双葉地方の復興を考えるなら、まずは道路だ。それも双葉から郡山、福島につながる復興道路(速道バイパス)を作らないと復興につながらない。それがなければ、双葉町の復興はない!!	ノート
504	放射線量と除染	新聞などでみると自宅付近の放射線量は、徐々に減ってきている。国は、年間20ミリシーベルト以下であれば、帰宅可能というのがホットスポットがどこにあるか、実際に測定してみないと納得できないし、測定機器自体も信用できないところがある。放射線量と言っても、セシウムだけを問題にしているが、もっと恐ろしいストロンチウムやプルトニウムがどれぐらいあるのかが問題だ。早く国で除染をしてほしい。近隣の町は進んでいるのに、双葉町は遅れているのか。うわさでは、町が除染を断っていると聞いたが、そんな事はないはずだ。一次帰宅の時、草がおいしげり、車も傷ついてしまった、墓参りもできず遠くから手を合わせた。国も県も町も、国会議員も県議員も町議もなんで、除染という初歩的な事を進めないのか。	ノート
506	内部被曝検査	ようやく今年10月に内部被曝検査を受けることができた。近くの医療機関に申し込んでいたが、半年経っても、順番が来ないので、双葉町に寄贈されたホールボディカウンターでの検査となった。結果は250マイクロシーベルト以下だった。基準値以下とはいえ、内部被曝していることは、まちがいないのだから、今後の健康や生活に不安が付きまとう。ましてやストロンチウムやプルトニウムの被曝は検査できないので精神的苦痛は、なくなることはない。要するに町が復興したとしても、被曝者に復興はないということだ。	ノート
511	とても帰れる場所でない	原発から3.5km程の距離に、自宅があり、線量的には年間20~50mSvの居住制限区域に該当するようだが、中間貯蔵施設も近くに設置の計画の為、とても帰れる場所でないと思われる。	ノート
530	風評被害	風評被害については、今までややもすれば、動物とか“物”にだけの様に思って居ましたが、今は“人”にまで及んでいる。葉をつけても治らない。残念です。“一生ついてまわる”。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
570	ホールボディカウン ター検査を土日にも受 けられるように	ホールボディカウンターを受けたいが仕事をしている人は土・日しか休 みが取れないのに、土・日に受けられない。受けられる場所も近くに無 いのか。	ノート
611	高齢者には自己責任で 立ち入り許可を。	一律に対応は無駄を生じているのでは。若者と高齢者で違いがあつて当 然と思う。70～80台の老人は今の放射線による影響を考える事自体、笑 止千万と思う。まして低レベル放射能の影響は何の結論も出ていない状 態で、1月広報誌の検査など無用だ。ただデータ取り、住民をモルモット 扱いにしているように思う。高齢者(60台以上)が警戒区域内に立ち入る 自由を認めて貰いたい。やる事が一杯あるのだ。寿命には限りがある のだ。自己責任で立ち入ることを認めるべき。	ノート
620	双葉町に戻ることの現 実性 __仕事、ライフライ ン、若い人	放射能の汚染が双葉町はひどく最低10年以上は戻れないと思う。悲観的 な見方だと40年～50年位は戻れないのでないか？現在、原発はまだ 危険な状態だ。原発が真に収束宣言をしライフラインも整備し全ての生 活基盤、文化基盤も整備されなければ人も戻って来ない。特に若い人は 戻って来ないと思います。むろん、企業も商店も役所も戻って来ない。 そんな所に仕事はありますか？そんな所に町民は戻れますか？	ノート
621	どうすれば良いのか	原発が収束せず放射能の懸念のある限り、町も今後に向かってしっか りとした指針が示せないと思う。だから町民は路頭に迷うのだ。専門の 大学の教授などの話を聞くと双葉町民は健康を第一に考えれば戻らな い方が賢明でないか？と言う。しかし、私達はこよなく双葉町を愛して いる。戻りたい！戻れない！町民はどうすれば良いのだ！！	ノート
622	要望__除染をすること が基本	原発が真に収束し放射能の心配がなくなれば若い世代、子供達は 帰って来ない。現在の状態では夢物語だ。学校も教育も双葉町では成 り立たない！早く中間貯蔵施設をしっかりと作ることだ！！除染をす ることだ！！それが基本だ！！	ノート
628	帰町について	前述していますが、我が故郷、双葉町は山紫水明、白砂青松の太平洋 岸にあり古来より永年にわたり暮らしてきた土地でもあり、また先祖の 墓、魂が眠る故郷でもあります。一刻も早く戻りたいのは誰しもが望む 想いではないでしょうか・・・しかし現実はどうでしょうか？野田総 理が就任の第一声で福島復興なくして日本の復興はない。そして昨年 末には福島第一原発の収束宣言をしましたが、事実は果してそんな甘 いものではない。まだまだ危険な域を脱していないはず。その間近に ある双葉町はどうして町民が数年後に戻ることが出来ますか？今から 10年？いや数十年戻れないかも知れません。全く不安でいっぱいです。	ノート
629	提言	しかし愚痴ばかり言っても前進はありません。そこで私と妻〇〇は 二人で提言を致します。 ①東京電力第一原発の真の収束宣言！！最も大事なことはこの真の収束 宣言です。これが解決出来なければ町民は安心して戻ってこれません。 国、東電は加害者です。私達は何も悪い事はしていません。各国の力 なども借りながら全力をあげて真の収束を一刻も早く実現して頂きたい。 ②双葉町が元通りに町民が戻れるには・・・。現在、町長、町議員が仲 違いをして揉めております。今このような大事な時期に一刻も早く止 めてお互いに力を合わせてやっていくべきではないでしょうか。町長は 双葉郡内の町、村長との関係、国、県との関係にも車し車楽があります。 町のトップがこれでは町美人は不在。早く、関係諸機関と和解し、町 民のため双葉郡内のため、施政を行って頂きたい。中間貯蔵施設の問題 も郡内各町村長と仲良く話し合いベストの方法で決着を図る。私達の 意見としては各町村の放射性廃棄物は自らの町村で中間貯蔵施設を作 る以外に方法がないのではないかと考えます。これが決まらなると先 へ進めません。 ③我々の次代を担う若い世代の方々が安心して戻って来て頂く為には 放射能の心配のない住環境を作ること。そのためには前述の通りまず 真に原発の収束宣言を国ですることです。それからインフラの整備、 そし全ての社会基盤の整備であります。例えば役場、役所、学校、病 院、働き場となる各企業、団体、諸機関、商店外商業施設、アミューズ メント、公園等々であります。 ④双葉郡内を二つの町（または市）に統合する案。一例として下記に分 ける。 a、仮の名称 北双葉町または市（浪江町、葛尾村、双葉町） b、仮の名称 南双葉町または市（富岡町、大熊町、楢葉町、広野町、 川内村） 上記に統合した町または市を作る場合、放射能セシウム数値の低い所 で都市機能が充足出来る場所を選定する。郡民が先祖伝来の土地を離 れ大移住をするわけだから皆様の財物を東電、国はしっかりと賠償す る。上記案にすると行政、諸機関はかなりスリム化される。しかし働 き場の確保も大事な条件になるはず。この案は10年～15年程度で達成 する。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
632	直近の線量について	私の息子が双葉町の〇〇に用事があり許可を貰って行って来た。12月11日（火）、直近のことである。 ①双葉町長塚字寺内前〇 〇〇双葉店の駐車場の線量は15マイクロシーベルト。 ②自宅のある双葉町新山字久保前〇の線量は自宅内は5マイクロシーベルト。 ※これは2ヶ月、5ヶ月前と殆ど変っていない。外の庭は14マイクロシーベルト ※この線量も2ヶ月、5ヶ月前と殆ど変っていない。畳も腐ってきている。風呂のタイルもカビが生えてきている。全体に家の内部が傷んできている。	ノート
662	生活する場所	仮の町は気候風土の所で家族そろって放射線なく安心安全で過ごす所。子供や孫末代まで生活出来る場所で人生を送りたいのが親として安心の場ですね。	ノート
664	自分達より子供達	老人はどうなってもいいから、心配なのは、子供達を安心して育てる事ができる事が第一です。放射線の影響のない安全な土地に住みたい。	ノート
720	放射能影響	テレビでは、放射能の影響で昆虫の奇形が多くみられるとか鳥なども少なくなっていると言う。これから子供などに影響がなければよいが	ノート
759	放射性物質の人体への影響_一時帰宅で持ち帰ったもの	ボランティアの人に言わせると、一時帰宅で物を持って来るのは良くない、と。衣類は洗っても線量はなかなか落ちないという。しかしつい気に入っているものを持ってきてしまう。本当のところを知りたい。一時帰宅で持ってきた物いっぱいの中で息を吸って暮しても大丈夫なのか？こんな質問を受けるころはあるのかな。	ノート
760	12/23号 サンデー毎日より	4号機の設計に携わり、国会の事故調査委を務めた科学ジャーナリスト、田中三彦氏は「怖いのは4号機です」と指摘して、こう解説する「4号機の冷却用プールには、今も1331体の使用済み核燃料と新燃料203体が入ったままです。東電は来年11月から巨大クレーンを使い、すべての燃料を取り出す方針ですが、1年ほど毎日のようにクレーンがフル稼働するので、吊り上げている最中に大地震に見舞われる可能性は小さくない。燃料を落としてしまったらどうするのか。東電にそのことを聞くとそういうことも考慮しているというが、本当に大丈夫なのか」プールは建屋内の3~5階部分にあり、建屋が爆発した際に影響を受けたため、耐震補強を施された後も余震による倒壊を懸念する声がある。しかも使用済み燃料棒は致死レベルの強烈な放射線を発し、水中で冷やしながら保管する必要がある。水が不足すると高温になって発火し、消す手立てもないため大量の放射性物質が飛散する恐れがあるとの指摘もある。賠償がぜんぜん進まない。弁護士も何も言っていない。同じサンデー毎日で町長が「いのちの党」の賛同者だと知った。うまく利用して現状を訴えてほしい。	ノート
777	要望・質問 _現状の放射線量、放射能影響、補償 等	・双葉町内及び周囲町村の詳細な汚染状況を調べる。 ・上羽鳥公民館前にあるモニタリングポストの線量を公開する。何か秘密にする必要があるのか？ ・汚染の高い所を除染する。可能か？山、田、畑、つり、河川敷、家、庭・汚染水は、線量が高い山から川へ流れ込む。除染は可能か？ ・山から流れた水は田畑に入る。そこで作った米、野菜は食べられないと思うが。 ・山には、キノコ、山菜等がある。食べる事が可能か。また食べられるまで除染をするのは可能か。 ・ライフラインの復旧はいつまで完成するのか？ ・家に帰れる時期は何年先になるのか？ ・水道水は本当に「のめる」のか？ ・家、土地の補償を完全に実施する ☆未登記の家は補償できないのか？ ☆庭木等の補償は？ ☆田、畑の収穫の補償は？ ☆お墓の補償は？ ・町の復興には、病院、お店等の生活にかかせないものがある。旧双葉町には可能か？ ・子供達が生活できるのか？学校等。 ・双葉町から避難している人達への国、東電からの補償が少ないのでは？補償金・期間 ・避難者の自由をうばったのでは？	ノート
780	東電原子炉について	東電の1号、2号、3号、4号の原発は収束していない。なぜならば、1~3号は炉心に燃料が入っていて、1日数トンの水を入れなければならない。水量が少ないとか水が入らない事が起これば再度臨界になり爆発により高線量の物質がまきちらかされる、決して安全な状態でない。4号機には使用済み燃料が1500本ほど入っている。プール内に水が入らなければ爆発の可能性はある。一番危険なのは4号機ではないか。	ノート
814	要望（放射性物質）	原発事故により飛散した核種はCs-137、Cs-134、I-131等の数値が公開されているが、他の人工核種（Co-60、Mn-54等）も公開してほしい。水、動・植物、土壌への影響は、ぜひにも知っておくべきだ。	ノート
816	放射能汚染のない町に住みたい	双葉町へ戻って1年余り、自然豊かなのんびりできる場所でも今はない。放射能汚染のない町へ早く住みたい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
818	元の町に戻れるのか？	12月12日民友新聞より山田地区の放射線量が毎時0.1マイクロシーベルト以下まで（安全）に165年（除染しない場合）かかるとの発表。仮の町を作ったとしても元の町に帰れるのは無理ではないのか？	ノート
874	要望	本当に、放射線の心配さえなければ、年をとる迄住んでいたい町（浜通り）でした。もう目に見えない恐怖の中で子供を育てていくのは困難な為、除染は、あきらめて、少しでも市民の財源として活用できる方法を導いてほしい。	ノート
902	“思いつくままに”	原発の早期収束と町内全域の放射線除染を完全に進め、従来の町に取り戻すよう創意工夫していかなければならず、その手段はなかなか頭に浮かんでこない。	ノート
928	原発反対	また、原発で共存して生活をさせていただいた相双、いわき地域でしたが、今となっては、申し訳ありませんが、こんな恐ろしい収束も出来ない、電気の作り方はやめてほしいです。原発はいりません。ほしい人は、自分の家のわきを作って、利用してもらいたい。まず原発反対です。作った方がいいなんて頭のおかしな人の気持ちは分かりません。別な方法で電気を作ってもらいたい。それが希望です。	ノート
1043	放射能汚染の恐怖	大地震もさることながら、放射能の汚染の現状は恐怖そのものである。	ノート
1044	放射線量__内部被曝検査	私の家は比較的高い線量であった。私の内部被曝検査では720があったので気にしている。	ノート
1079	目に見えないものだから感覚が薄れてくる	放射能 目に見えないものだから、だんだん危険なものだという感覚が薄れてくる。	ノート
1084	放射能数値を調べて欲しい	放射能は目には見えないので、何処が高いか低いか分からないしもう二年になろうとしているが、3月11日のままで何一つ前に進んでいない。一日も早く除染して人が住めるのか調べてほしい。	ノート
1099	双葉町の復旧・復興について	放射能を科学の力でとりはらうことはできないだろうか。困ったものだ放射能の心配がなくなって住めるようになる頃はもうこの世には居ないだろう。孫たちが住めるようになるかも知れない。放射能の除染が終わらないうちに国が土地を買いあげるということは絶対に応じないつもりです。	ノート
1148	水について	安心して飲む水を！！	ノート
1191	意見	仮の町は原発が収束しないうちは県内は無理ではないか150年以上かかるよ。	ノート
1192	意見	プルトニウムは水にはとけないよ、どうするの。	ノート
1194	広報について	線量の正しい広報を行って下さい。	ノート
1197	意見	双葉郡8町村はほとんど帰還困難です。帰すことは国家犯罪です	ノート
1259	放射線の単位について。	放射線の単位や環境への影響などまとめた資料などほしい。くわしく知りたいと思う。	ノート
1264	これからの健康のこと。	放射線に関することや、甲状腺などの病気に関することがくわしく知りたい。	ノート
1265	これからも忘れないでほしい。震災のこと。	これからも、震災のことや放射線のことなど風化しないように。教えてほしいと思う。	ノート
1266	放射線に関する病気など。	放射線に関して、影響してなる病気など知りたい。注意することなどもくわしく知りたいと思う。	ノート
1286	放射能検査について	放射能の検査も（内部被ばく）埼玉までは行けません。遠いので泊らなければなりません。無理だと思います。どうすればいいのかなー。	ノート
1301	暮らしについて	放射線を気にすることのない暮らしがしたい。	ノート
1313	要望	安心して食物が食べられるようになってほしい。	ノート
1338	原発事故	今後起きたならば、日本人は世界一バカな人間だと言われるだろう。一度ある事は、二度ある事もある。原発再運転は慎重に考えてからだ。	ノート
1342	今の双葉町の状態から見ると双葉町の町民は本当に戻るだろうか	放射線は目に見えないもの。高い低いもわからないもの。子供達がこわいから戻らないと言ったらその親も戻りたくない気持ちになると思う。線量が低い中野中浜中田地区は、中野の一部中浜全域津浪にやられ住むに住めない有り様。山石熊は線量が高いすぐ戻れる地域ではない。帰りたいと思う夢が消える。	ノート
1350	風評	福島産リンゴ、梨、ぶどう、桃・・・沢山ある。野菜も東京大阪へ出荷されているが、「安全」「安心」と言われても、売れなかった。昨年はリンゴなどは3割程度しか売れなかったと言う。遠く離れた福島市周辺でも売れなかった。原発から離れた地でも米の作付け制限がされ、南相馬、川内、田村、広野、いわき、飯館、伊達と拡大した農業としては涙の出る思いだ。風評被害はこわい。	ノート
1351	県や国の避難訓練を思う	事故前の訓練、原発から3～5km圏は、年1回程度やってきたが、いざ本当の事故となると30km圏内となった。今まで万が一事故があっても3～5kmが避難命令が出てもと、そんな気でいた。あまりにも過少な避難訓練だったと思う。また3～4日したら元に戻れるものと思っていた。原発はこわいと思う。原発はいらないと思う。「原発は絶対安全・安心2重にも3重にも安全だ」誰の言葉だ。神話が消える。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1427	新聞「かわら版道しるべ」 ■飯館の推進委避難の全戸に配布（H24・10/20民報）	全村避難している飯館村の活動の一端に学ぶ。いいたて健康リスクコミュニケーション推進委員会は20日、村民に放射線を正しく理解してもらうために、新聞「かわら版道しるべ」を発行すると報じている。注目したいのは、取材と執筆には一般の村民が携わり住民の目線を重視して編集にしていること。そして放射線の専門家が監修に参加しているきめの細い対応がなされている。子供四人を育てながら編集に携わった主婦〇〇さんの弁「何が正しいか分からないことだらけ。一つ一つ疑問に答えたい」と意気込みを語っている。すごいパワーですね。村民も参加しての新聞発行ですよ。どうしてこのような活動ができるのでしょうか。菅野典雄村長「新聞を生かして村民に寄り添い、古里の復興を目指す」と期待を込めている。うむ、やはりリーダーの姿勢も大きな要因になるんですね。もう一つの事例（H23・8/9毎日新聞）	ノート
1428	■住民独自で「健康手帳」	飯館村の住民有志が独自の「健康生活手帳」を作製・村民に無料配布。プロジェクトは、原発被害者や医師のアドバイスを受け編集し、プロジェクトに寄せられた支援金を活用、発行にあたっては村と合意をかわして村民に配布した。県は県民を対象にした健康調査を実施するが問診票は回収されるため、手元に記録が残されないのが助かりますね。広島大学原爆放射線医科学研究所の星教授も「手元に行動記録を残すことは絶対に必要」と言っています。住民パワーのすごさ、なぜ出来るの？真似できますね。「でもね」がでてくるのが問題なのです。	ノート
1460	暮らしたい場所	放射線のないところで、のびのびと子どもたちが外で遊べる場所、安心安全な食べ物があるところ、野地野菜の安心して食べられるところ。	ノート
1471	放射線量の測定数値メモ	Dosimeter-Vadiometer ・H24/11/30 AM10:30~11:30 MKS-05. TERRA 住宅の外 0.47 室内 0.16 (msv) 12/1 0.40 AM10:00~11:00 12/5 0.39 AM15:30~ 12/7 0.46 AM10:00~11:00	ノート
1474	原発について	私は原発で15年間働きました。特に燃料棒関係の仕事をしておりましたので、今現在の状態はよくわかります。ドライ、ウエル、ベデスタルの内部は、非常に強く狭く、たとえ線量が低くなくても取り出すことは不可能です。おそらく、50年たっても取り出せないでしょう。これは現場にいたものしか分かりません。このことを広く町民に知らせるべきです。そして、一刻も早く外の土地で暮らせるように努力すべきです。	ノート
1489	原発の廃止について	かつて、原子力発電所の誘致について、賛成・反対の意見がありましたが、安全性については、政府・東京電力会社側は、絶対に安全であると言われた。今回の事故で、安全神話が完全に崩れ立地町は当然、多くの各都道府県民にも被害を及ぼし今だ全国に避難生活を余儀なくされております。今後、子孫のためにも全国運動として、被害町民としては電気料の値上げがあっても、原発は絶対に廃止してもらいたい。	ノート
1521	生活する場所の気候風土のこと、放射線などの安心安全にかかわること	暑い、乾燥する、寒い 春と秋が短い 放射能は危険だ。誰にも見えない。離れるしかない。安全、安心は外から判断するのか、自分で決めるのか。	ノート
1561	風評被害について	風評被害、差別、偏見に対して、どう対処するかが、今後の大きな課題だと思います。世論形成が大切だと痛感しています。風評、差別、偏見の問題は、双葉町だけの問題ではありません。人権問題ですので、真剣に考えるべきだと思います。人間の尊厳に係る最も大切なことですので、みんなで話し合わなければならないことです。勇気を出して真剣に話し合しましょう。	ノート
1578	情報提供	双葉町の詳細な放射線量を情報開示してもらいたい。	ノート
1637	原発反対！！	安全なんて絶対ありえないし、2度と信じられない。 太陽光・地熱・風力発電など、自然を利用して安心して暮らせる日々をとり戻したい。	ノート
1656	放射能について	原発事故により、地表にまんべんなくまかれ、今も出続けています。今後の生活について、また除染について大きな不安を持っています。	ノート
1662	放射能の不安	放射能は除染によって住めるようになるのだろうか。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1672	農業は再生できるのか	水田の水は大柿ダムから来る。 大丈夫か？ 米は買う人がいるのか？ 野菜は売れるのか？ 山林の除染は可能なのか？  我々農業の仕事は双葉町でなければできないのではないかな？ ？マークだらけの環境で先が見えない。 生活も農業もできるのは、放射能のない土地へ町移動ではないのだろうか。	ノート
1677	原発について	私は実家が双葉の〇〇にあるので、母親のたのみで〇〇から48年3月31日に引越してきた時、東電は30年で廃炉にしているからという事でしたが、それが42～43年にもなるし修理点検しているからと言われていましたが、事が起きてからいくらさわいでも遅いですね。	ノート
1685	放射能	東電の放射能は目に見えないから空から雨といっしょにどこにでもあると思う。 これからの若い人や子供さんの事が心配です。この人達の人生が最後まで国や東電が医者に行く時もみてくればいいが。	ノート
1704	ホールボディカウンターの実施場所や日程について	埼玉は遠くて往復するのが大変だし、福島県石川郡の病院も平日しかやらないようなので、予約をとるのが難しいです。 仕事をしている人達のために、土日も検査してほしいです。	ノート
1718	原発について	昨年あの日あの時突然の出来事で、ただ西よ東よと露頭にまようこととなりました。まさかこんなに長くなるうとは思ってみませんでした。 放射能と言うこわい言葉すらあまり知られていませんでした。原発は安心だとばかり東電ではせんでんしましたからそう言ってもおそい。 これからは別にエネルギーの開発（太陽光発電、水力、地熱とか）色々あると思います。 私は精神的にもつかれはて漢字もなにも忘れてしまい、ふっとでてくる時あるんですが、こんなことでごめんなさい。	ノート
1788	双葉町復興と帰還	復興を考えるときに、これまでの双葉町が先ず頭に浮かんで来ます。しかし、現在脳裏にあるのは町の広報や新聞等のマスコミによって知る双葉町全域の放射能の数値の一部分で大字または字単位にわたった詳細な数値が分からないことでもあります。従って、双葉町に戻ることが果たして出来るのか、また戻ることができる際何年先になるのか、この辺が一般人に知ることができないところがあって、復興の考え方にならない点があります。国は収束まで30年かかると言っていますので、この30年までの復興をどのように考えれば良いのかなあと判断しています。そうであれば、何処かに双葉町を造ることの声なのかなとも受け止めている現状です。	ノート
1789	放射線量の詳細地図を要望	参考まで、浪江町では区長宛に大字または字毎色々にした放射線量の地図を配っていたようですが、双葉町でも欲しいと考えています。	ノート
1804	放射線量の詳細地図を要望	隣町の浪江町では、国作成の大字・字単位の色別放射線量別地図を区長などに配布し住民との懇談会に利用されているが、自分達の自宅はどのようになっているのかが知りたいため、双葉町の場合も要望したいものである。	ノート
1817	目に見えない放射線	安心して住めない双葉町。私達は双葉町から離れた昨年の3月12日から、双葉町は心からも離れていってしまった。放射線により住めない町になってしまった。 新しい双葉町はどうなるのだろう。 安心して住める場所で生活を送りたい。	ノート
1858	近隣に住み戻るとしたら	未だ新聞等でみると第一原発は沈静化していない。今は大過ないものと考えてもやはり今までのそして現在の東電政府の対応を実際感じると、どこまで信用して良いか不安である。一つに100%原発近隣（相双）に住み戻るとしたらどういう形式がいいのか？	ノート
1898	放射能について	一時帰宅も危険なのでは？と思い、一度も行っていない。もっと安全になったら、生きているうちに見に行きたいです。	ノート
1927	ヨウ素剤について	この前、何年前に町にも揃えてあるようなことを聞いたことがあります。今回の災害時にも何も活用できませんでしたね。次の子供たちにはぜひいい方法でそれを活用できる様に町としても考えて頂きたい。	ノート
1928	線量計について	昨年避難していた折、貸してもらおうように申し出た時、県外者は無理（というか県内在住者のみ）と断られました。なぜ？…と淋しい気がしましたね。そこを平等にかつ迅速に。（今年6月申出した品が先日やっと手元に届きました）町職員さんの苦労もわかりますがどうぞもう少しならないものではないでしょうか？	ノート
1929	健康検査について	全国どこの病院でどのような料があり、どこで受診できるのかの一覧表があれば、大変役立ちます。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1936	放射能について	今住んでいるこの街にも友達ができ野菜等いただきますが、若い者たちはこの辺で取れたものは食べない。会津の友から送られてきたものも絶対食卓にはださない。なんということでしょう。逆に「母さんは放射能のことをもっと重視して」といわれてしまう。 淋しいこと、店頭で出ている品は全部検査済みなのだと思うのですが～	ノート
1982	1. 原発事故の現状	安全、安心だと騙され、3月11日着の身着のまま6回も避難しました。この大気中放出により各地に放射性物質が降下することにより土壌・河川・海洋が汚染され各用水・農畜水産物から放射性物質が検出されることになった。特に福島県内は航空モニタリングの結果からセシウム137の蓄積量はおよそ1ヵ月半（4月29日時点）で最大1470万Bq/m <sup>2</sup> となり、チェルノブイリ原子力発電所事故の計測結果の340万Bq/m <sup>2</sup> を大幅に超える結果となり、いわき市の北部から伊達市の南部にかけてベラルーシ移住対象レベルの55.5万Bq/m <sup>2</sup> を超える地域が広がる事になった。 また、群馬大学教授の早川由紀夫は、福島県災害対策本部発表の線量データを等高線にして地形に重ね、さらに広域の「フクシマの放射能地図」を作っているのを町から配布されました。これから、気流は山に阻まれて平地と谷を進んだらしいことが分かる。また、南南西方向にも広がりが見える。これは北西方向への強い広がりとは別の時間に拡散されたものと思われる。 早川の「福島第一原発から漏れた放射能の広がり」は、関東における汚染の広がりが示され、水色以上（0.5マイクロシーベルト/時以上）の領域が東京都葛飾区にまで分布した様子が分かる。 	ノート
1983	2. 放射能による健康被害	チェルノブイリ原発事故から23年、長期間に渡って放射性物質に汚染された地域に生活しこれらの放射性核種を摂取してきたベラルーシ共和国の住民たちは、心臓病と悪性腫瘍の発症リスク増加に見舞われてきた。これらの病気が事故後23年間着実に増加し続けたことにより、住民の死亡率が出生率を2倍以上上回るという、人口統計上の大惨事といえる状況がもたらされた。現在の状況は、チェルノブイリ事故の被害を受けた地域に暮らす市民の健康を守るための対策を速やかに講ずるための国レベルおよび国際レベルの決断を必要としている。 資料（Marey A. N. 共著1974年、ルシャーフA. P. 共著1974年、テルノフV. I.、グルスカヤN. V. 1974年）	ノート
1984	3. 双葉町基本的全体構想の作成するために	放射能とは、特に私のような高齢者に理解させる必要がある。若くても高齢者でも影響があること、放射能は匂い、色もなく線量計で計測するしかない。その計測した積算線量が双葉町では帰還困難な地点が75%位ある。（環境庁の説明）その核種により、半減期が万年に及ぶものがある。また測定できない核種もあり、特に最も危険な中性子線の存在もあります。それを理解しないで戻れるという意見もあることを承知している。私は戻れないし戻りません。 戻れると意見する方には現に7000人復興会議で町民の意見要望もあるが、町としての検査体制、水道、ガス、道路、食品対策が町としても具体的支援体制を立案していく必要があります。チェルノブイリ原発事故の際は、0.5μSv/h以上の地域は廃村になっている。日本ではそれ以上の地域でも当たり前の日常生活が送られている事実がある。これが若者が町に戻らない理由になっているし、若者を戻してはいけないと思う。 3月11日以前も東電のデータの偽造により、正常な生活ができていたと思っていた。しかし事実冷却水には放射能が含まれている事実が、その冷却水で養殖したヒラメが報道された。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1999	子供のことを考えると、今はまだ福島には帰れない。	<p>保護者も一生懸命、学校の活動に参加したり協力していた。子供のことを考えると、今はまだ福島へは帰れない。国の基準の20ミリシーベルトは、何を根拠に示しているのか？安全というなら、国の役人達が住んで手本を示してほしい。区域の再編を受け入れる、中間貯蔵施設を受け入れる、とは全く失礼で迷惑な話だ。</p> <p>これで復興が遅れるという人もいるが、受け入れが復興につながるとは到底思えないし、ますます帰れなくなって、復興が遠ざかっていくと思えてならない。</p>	ノート
2001	町長と協力して、双葉町の未来のために汗を流す議員が1人もいない	<p>町長と協力して、双葉町の未来のために汗を流す議員が一人もいないとは、レベルが低すぎる。町長だけが孤立してしまってみえるが、本当は、勉強不足で町長の何10倍も遅れて後を歩いている落ちこぼれにすぎない。</p> <p>私は、町長が有事のときに、とった決断力は正しかったと思う。今はもう、福島の人達は麻痺して、マスクもつけないし、夏も半袖を普通に着ているが、大丈夫なのだろうか。私達は、福島から遠く離れてしまっただが、精神的不安に脅かされることもなく、安心して子供達を外で遊ばせたり、マスクを着用させたりせずすんだ。洗濯物も外に干したり、草道を歩いたりできる。</p> <p>私は、何事も町長には先見の目があると思う。今双葉町は大きな船に皆が乗って航海をしている。だが、船長に従わず、各々が勝手なことばかり叫んでいては、船が進んでいかないのである。</p> <p>悲しいことに、町民の心はバラバラになってしまった。そのバラバラな気持ちを議員達がまとめ役になって働いてほしい。</p>	ノート

### 【インターネット会議からの意見①（各会議意見へのコメント）】

※「コメント」とは、各会議会場の発言として専用ホームページ上に掲載された意見に対して、インターネットを通じて投稿された町民の意見・提案のこと。  
 ※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議 (対象会場)
2413	情報提供	役場より最低限の情報を出さないといけないだろう。放射線量分布図を町民へ郵送すべきでないかと思っている。	1	東京G
2413	コメント1	放射性物質汚染対処特措法に基づき国が除染を実施する地域における詳細モニタリングについて(最終報告) <a href="http://www.env.go.jp/jishin/rmp/report_120517.html">http://www.env.go.jp/jishin/rmp/report_120517.html</a> など町にたよらなくとも情報は入手できますが、インターネット閲覧環境が無い方のためにはご意見の通りですね。		東京G
2425	警戒区域解除になったら？	警戒区域が解除になったとしても、収束していない原発が（政府は収束宣言しているが実際はしていないと考えている）近くにある状態で、そこに戻る気はない。	1	東京G
2425	コメント1	その通りだと思います		東京G
2426	除染をしたら？	除染で放射線量自体が下がったとしても、まだ危険な状態の原発が近くにあることには変わりがないので、完全に廃炉になって安心できるまでは戻る気はない。	1	東京G
2426	コメント1	その通りだと思います		東京G
2473	チェルノブイリとの比較	テレビや雑誌ではチェルノブイリとの比較ばかりしているが、そんなにひどいとは思わない。ただ、そういうことは頭に残ってしまう。		さくらG
2473	コメント1	考えが甘いのでは？		さくらG

【インターネット会議からの意見②（HP上の意見及びコメント）】

※「HP上の意見・コメント」とは、専用ホームページに登録し、ホームページ上で投稿された町民の意見・提案のこと。

※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
7	除染は何処まで実施するのか？	双葉郡の広大な面積をくまなく調査し線量マップが必要！ 半径100mのポイントごとの線量情報を作って頂かないと本当に安全な地域か分からないのでデータを出してほしい。 線量が居住可能な線量だから安全とは言い切れない！ 垣根越しに高い地域はあると思う。 国のデータでは納得できない。	3	HP
7	コメント1	一世帯ごとの線量マップは必要だと思います。		HP
11	避難区域再編の前に	これから40年の間、廃炉作業が続く第一原発周辺に戻って生活出来るのでしょうか。最近では3号機の燃料プールに鉄骨が落下する事故も発生しました。4月の初めに平野達男復興大臣が、第一原発周辺に緩衝地帯を設ける方針を出しましたが、その後どうなったのでしょうか。中間貯蔵施設候補地の話もあります。放射線量だけで再編をするのではなく全てを含めて再編してほしい。	2	HP
11	コメント1	賠償の事や中間貯蔵施設の問題、そして区域の再編にしても事故の加害者側が主導権を握るのは納得できません。野田総理が冷温停止を理由に収束宣言しましたがそれも納得できません。私たち被害者が納得する方法で決めて欲しいですね。		HP
15	空間線量	年間 1mSv/h=1000 $\mu$ Sv/h以下になるまでは駄目だな 0.114 $\mu$ Sv/hで 年間1000 $\mu$ Sv以下 0.115 $\mu$ Sv/hで 年間1000 $\mu$ Sv以上 皆さんも福島県、全国の放射線マップを見て考えましょう。 井戸川町長の埼玉行きの判断は◎で私は良かったと思います。 これから線量と戦い、暮らしやすい仮の町を造っていきましょう。		HP
56	医療費の補償	現段階では、放射能がどの程度将来に体の影響があるか分からない。以前、町が主張する医療の永久無料（放射線手帳）を強く望む必要がある。 次のことは原発がもたらす影響かどうかは定かではないが、『奇形の赤ん坊』の出生率は、双葉郡地方は少なくない。発表していないだけである。 将来、これらに関する事が増加しても、放射能と因果関係がないと言われた場合、補償されない。再び町民がさらに苦しむことになる。 放射線による影響は上記内容だけではなく、我々の体に将来何らかの形で影響するかも知れない。 だから、今の段階で『医療費の無料の永久継続』を国に望む。		HP
61	放射線と解除準備区域区域	放射線知識はあまりないので、間違った発言でしたらご了承ください。 単純に思うことは、解除準備区域は年間20msv以下とされているが、この値の放射線を毎年浴び続けることは、大変危険なことではないだろうか。 これはあくまで空間線量の値としている。側溝あるいは水などたまりやすい場所その他類似場所における放射線量は相当に高い値を示しているはずである。 そう考えると、この値で避難指示解除準備区域にしてもいいのかと考えてしまう。特に子どもたちへの体の影響は、さらに危険性を増す事はいうまでもない。富岡町の復興計画の中にある放射線量を年間1msv以下でなければ、町に帰還しないというスローガンは、妥当だと思う。  要するに、町民が求める放射線の基準を町が文章で示し、明確に知らせることが大事である。決定すればその基準を国がなんと言おうと譲らない、という姿勢で臨みたい。 ただ単にチェルノブイリとの線量と比べるのではなく、その数値を参考に双葉町の放射線基準を作ってもらいたい。	2	HP
61	コメント1	年間20msvと言ったら毎時約2.3 $\mu$ sv、年間1msvにするならば毎時約0.11 $\mu$ svまで除染して下げなければならないということです。要するに、国はいかにそのまま帰宅させようとしているかが見えてきます。	2	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
72	放射線の影響を考える。(1)	<p>『昨年3月12日午後3時頃に、双葉町上羽鳥にあるモニタリングポストの空間放射線量が毎時1.59ミリシーベルトを示していたことを公表しました。この線量は一般人の被ばく線量限度である年間1ミリシーベルトを超える数値。』</p> <p>上記文章は、町長メッセージから抜粋した内容だが、NHKでも同じ内容を報道していた。まさに恐ろしいことである。町民、特に子どもの放射線影響は、本当に大丈夫と言い切れるのか？言い切れるはずがない。ましてや帰還を迫られている町は、大丈夫なのか？大丈夫と発言するほうが間違っている。</p>		HP
73	東電福島1F復旧作業を考える。(1)	<p>「原発内、高線量下で業務 元作業員、関電工を告発」 【作業に危険はない程度の放射線量と事前に説明されたが、建屋の地下には高濃度汚染水がたまっていた。建屋内では、線量計が20ミリシーベルトを超えたことを知らせる警報音が鳴ったが、関電工の社員が「誤作動の可能性はある」として作業の継続を指示したという。】</p> <p>この記事を読んで。 ありえない作業指示ではないだろうか。事故前の通常作業においても、日常茶飯事にこのような労働基準違反をしていたのだろうか？疑われない記事である。 元受会社から一次会社そして二次会社それぞれに会社の責任者がいるはずである。それぞれの会社に責任があると思う。このような会社が、現在まだ東電内の作業をしていたら、確かな復旧作業が本当に出来るのか疑問である。 事故前もこのような『親方日の丸』に近い東電体質があるから、いつになっても、社会に喜ばれる体質が生まれない。結局はこの地域に住んでいた人には、『かわいそう』と言う言葉しか残らないのだろうか？</p>	1	HP
74	放射線の影響を考える。(2)	<p>『計7袋基準値超え 郡山（旧富久山町）・大玉（旧玉井村）のもち米 福島県は「今後も全袋検査を続けるとともに、原因の調査をしっかりと行っていきたい」と話しています。』</p> <p>この記事の内容を見て、検査するまで、実際の放射能濃度がわからないということは、米以外の作物、穀物あらゆるものの、放射能濃度がわからない、また原因も調べるまで解らないということは、福島県は大変危険性がある地域と判断していいのだろうか？ぜひ分かりやすい説明を望む。 皆さんはどのように思いますか？</p>		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
75	放射線の影響を考 える。(3) new york times	<p>In Japan, a Long-Term Study on Radiation Leaks' Effects Published: October 10, 2011</p> <p>In an effort to track the long-term health effects of the nuclear disaster at Fukushima, Japan has begun a survey of local children for thyroid abnormalities, a problem associated with exposure to radiation. The study comes in response to concerns over the health consequences of the serious radiation leaks caused by multiple meltdowns at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station in March. Japanese officials hope to study about 360,000 children who were under 18 at the time of the accident and track their health through their lifetimes, according to Fukushima Prefecture officials. Children and pregnant women are particularly sensitive to radioactive iodine, which can harm the thyroid, studies after the Chernobyl nuclear disaster in 1986 have shown. According to research presented at a 2006 global conference, at least 4,000 cases of thyroid cancer among children have been linked to Chernobyl's fallout. On Sunday, the first day of the Fukushima study, more than 100 children were tested. Specific test results will not be made public, according to Fukushima Prefecture. But the children, who will be tested every two years until they turn 20 and every five years after that, will receive further care if doctors discover abnormalities.</p> <p>この文章は、Newyork Times 2011.10 福島第一の高濃度放射能漏れの記事の抜粋したものである。放射線の影響について記事である。特に子どもや妊娠中の女性に対しての度放射線の影響を懸念している。 最後の文章は、この地域の町村がもっとも力を入れるべき課題の一つである。健康診断の定期検査はもとより、少しの異常が見つければ、相当の年月を国が責任を持って、検査させる責任を持たなければならない。海外でもこれほど、関心を寄せている。日本の国もこれに恥じないよう対処することを強く願う。</p>		HP
78	甲状腺検査説明につ いて	<p>『保護者なお心配 郡山で「甲状腺検査」初説明会 東京電力福島第1原発事故の発生時に18歳以下だった県内の子どもを対象に甲状腺検査を進めている県と福島医大は4日、郡山市で保護者ら県民を対象に不安軽減に向けた初めての説明会を開いた。同大は「検査について丁寧に説明できた」としたが、保護者からは「検査結果は信用しているが本当に子どもたちの将来は大丈夫か」との声が聞かれた。検査結果をめぐって、いまだ不安が根強く残る保護者との意識の違いが浮き彫りとなった。 説明会は、受診した約4割が小さな袋状の嚢胞（のうほう）やしこりが見つかったものの、大半が「2次検査必要なし」の経過観察と判定され、「結果が分かりにくい」とする保護者の声に応えて実施。 検査で10歳と6歳の娘2人にしこりが見つかり、経過観察と判定された郡山市の30代男性は「検査は信頼している。ただ、しこりについての話をもっと聞きたかった」と不満を漏らした。』 （2012年11月5日 福島民友ニュース）</p> <p>いつもこのような記事を読むと疑問が残る。 保護者が、心配している単純な疑問になぜ解決されるような回答がないのだろう。将来絶対大丈夫と言う確信、自信がないからなのか？ 『二次検査必要なし』とされたしこりでも、やはり親であるならば、もっと詳しく説明され安心したいのは、当たり前である。 なぜお互いに『認識の違い』が出てくるのか？理解できない。</p>	1	HP
78	コメント1	<p>まるで議会議員の答弁書のようなカキコですが、明日食べるものが無い状況で復興住宅のことを考えては？？ここはスレ違いww</p>		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
79	放射線の影響を考える (4)	<p>『コメの出荷制限を指示、旧富久山町と旧玉井村 政府は5日、原子力災害対策特別措置法に基づき、玄米から食品衛生法の基準値（1キロ当たり100ベクレル）を超える放射性セシウムが検出された郡山市の旧富久山町と大玉村の旧玉井村のコメの出荷制限を県に指示した。 出荷するためには、県と市がそれぞれ、地域内の作付面積や収穫量などを盛り込んだ管理計画を策定することが条件となる。計画に基づいて全袋検査を実施し、基準値以下であれば出荷できる。県によると、旧富久山町の稲作農家数は205戸、旧玉井村は412戸。』 (2012/11/06 08:43カテゴリー: 主要)</p> <p>米の集荷制限をされている地域に、平気で生活権が確保できるのか？私には疑問であるが、どう思いますか？</p>		HP
79	コメント1	安全なつくばに来ては??	1	HP
84	帰還を考える。(1)	<p>『大熊町 46%が「戻らない」 原発事故に伴う避難区域の見直しが進められている大熊町の住民を対象に町や政府が行った意向調査で、「現時点で町に戻らないと決めている」と回答した世帯が、46%に上がりました。大熊町の住民の意向調査は、町と県それに復興庁が合同で、5378世帯すべてを対象にことし9月に行い、64%にあたる3424人の世帯主から回答がありました。それによりますと、避難指示が解除されたあと、町に戻るか現時点でどう考えているか尋ねたところ、「戻らないと決めている」と答えた世帯が最も多く、46%に上り、次いで、「まだ判断がつかない」が42%、「戻りたいと考えている」は11%にとどまりました。「戻りたい」と答えた世帯を年代別に見ますと、60代以上では16%だったのに対し、30代までの若い世帯では5%で、世代間の考え方の違いが浮き彫りになった形です。 また、「戻らない」理由は、複数回答で「放射線量への不安」が81%、「原発の安全性への不安」が70%、「家が劣化し住めない」が68%などとなりました。』</p> <p>上記文章は、NHK報道の文章です。</p> <p>これを見て、多くの周りの町民は思うだろう。放射線の危険性、町としての社会再復興不安、従来の町の人々との絆不安、いろんな不安が積み重なりこの数字が示された。 この結果を国、東京電力が反省し、重く受け取らなければならない。帰還させるだけではなく、現状生活から将来が見えるより良い生活を導くのも大切である。 つまり、一人一人の要望に耳を傾けるべきである。 帰りたくないという人を帰還させるべきではなく、その人たちには、より手厚い支援、手助けが出来る国になってもらいたい。 そんな温かい社会を求める人は多い。 11月06日 19時45分</p>	1	HP
91	不安です	<p>私は比較的朝早く288を走り避難しました。 訳も分からず、途中で防護服の人と車に異常を感じました。 それなのに私だけセシウムがでています。 検査をした東海は調べるだけです。 役場はそのような話は今まで無いです。 こんなかんじです みなさんどうおもいますか？</p>	1	HP
91	コメント1	放射線に関しては今問題になっている。検査結果が『完全異常なし』でないにも関わらず、この値では体には影響ないと説明される人が少なくない。今回の甲状腺結果の説明も不安を残す結果となり、新聞報道で問題になっている。もっと分かりやすい説明が必要となっている。特に子どもの甲状腺に関して福島県の保護者は、子どもの心配している報道が深刻化している。	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
156	廃炉	<p>除染については中間貯蔵施設ばかりが騒がれるが、1～4号機の廃炉作業によって生じる高濃度の放射性物質を含む汚染廃棄物（機器、配管、構造物、コンクリート等）はどこへ処分するのだろうか、40年後廃炉作業完了というだけで詳細は一切不明であり、その事が問題にならないのがおかしい。中間貯蔵施設を建設して、なし崩し的に第一原発構内に処分となるのか。帰還に向けた取り組みの中でぜひ確認してほしい。でないと避難区域の再編も受け入れられないし、帰還も出来ない。</p>		HP
168	双葉町の現状を理解する。1	<p>本日のニュースから双葉に戻りたくないというタイトル30.4パーセントとありました。</p> <p>過日、双葉町から矢ヶ崎先生のレポートを拝見しました。専門用語から理解されにくいところもありましたが、私は理解しました。簡単な計算でも政府の情報隠しがわかります。今も放射能が漏れている現状では帰宅はできないことが理解できます。今いろいろ議論されておりますが、特に3号機のプルサーマルの危険性等、解説する人がいない。解説すれば不安を煽るとマスコミからたたかれる。だからその危険性について知らないのが町民は帰れると思うひともいる。（私の論理がまちがっているか？）一方、のんきに3つの会に別れて何万年後の町づくりを議論している。町に帰れる前提で。今もっとも大切なことは各自町民の生活再建を援助してやることです。具体的に区割り、中間貯蔵施設を早期解決することです。</p> <p>そして安定した生活の場を提供してください。どなたかに高齢者に原発の核分裂の廃棄物が今の科学では処理できないこと、双葉町はその場になっていること、10～何万年後のことを知る人は誰もいない。孫の遺伝子に及ばないことを願うのみです。ただ判断材料はウクライナの現状を確認して同じテツを踏ませないことです。</p> <p>結論は早く賠償させ安定した生活の場を提供することです。もう町民は決断の年です。反論を乞う。</p>		HP
168	コメント1	<p>矢ヶ崎先生って言うのは琉球大学名誉教授の「矢ヶ崎克馬」さんの事で合ってますか？専攻が放射線防護学でも放射線医学でもなく、「物性物理学」の。</p> <p>反論というほどではありませんが放射線防護に関する話は、たった一人の学者の言う事を鵜呑みにするのは危険だと思います。</p> <p>「放射能は危険」とする学者と「放射能は安全」とする学者が両方とも沢山おり、今もって結論が出ていないからです。</p> <p>たった一人の学者の言う事が、この世の全てではありませんよ。</p> <p>現に矢ヶ崎克馬さんへは幾つもの反論が出ておりますし。</p> <p>実際のところ「放射能は危険」と考える人は「放射能は危険」と主張する学者の言う事しか聞こうとせし、「放射能は安全」と考える人は「放射能は安全」と主張する学者の言う事しか聞こうとせず、自分に都合の良い話だけを頭に入れてしまいがちです。</p> <p>本来は双方の言う事をきちんと精査しなければいけないんですけどね。</p> <p>「宇宙人は実在する！！」と言う人に「そんなものはいない」と科学的に説明しても聞き入れないのととてもよく似ています。</p> <p>ただ、あなたの仰る通り「中間貯蔵施設の早期解決」や「安定した生活の場の提供」は早急にすべき事だとは自分も思います。</p> <p>その為にも町政のゴタゴタを一刻も早く終わらせて、復興の為の議論をしていかなければいけませんね。</p>	1	HP
168	コメント2	<p>たしかに帰還を前提とした復興まちづくり委員会での話し合いと、この7000人の復興会議内での意見は整合性がとれていないと感じることが多々あります。</p> <p>私も早期に区域の見直しを受け入れて一刻も早い賠償を受けることが必要だと感じています。</p> <p>ただ、〇〇さんがおっしゃっているように放射線防護に関しては、多面的な意見を参考にされることがベストだと思います。</p> <p>たとえば今回の原発事故に関してメディアで意見を述べているのは大抵が「物理学的知見」からであって、化学・生物学・医学・工学など多くの分野からの意見を取り入れる必要性はあると思います。</p>		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
183	復興・帰還	<p>不安に思う事がたくさんあります。  双葉町と大熊町の間貯蔵施設候補地は、第一原発を囲むように配置計画されている、なにか意図があるのだろうか。  中間貯蔵施設の内側（原発側）はどの様になるのだろうか。  1～4号機の廃炉作業によって発生する廃棄物の処分場はどこに造るのだろうか。  東電は「必要な技術開発、制度の整備、廃棄物処理の見通しが得られていることを前提に、第3期で解体作業を行います」と廃炉措置に向けた中長期ロードマップに記している。  原発の廃棄物を他県で受け入れるとは思えず、いずれ第一原発を含めた周辺は廃棄物処分場へと化するのでしょうか。  町の復興、及び住民の帰還にとっては大きな課題ではないでしょうか。</p>	1	HP
184	帰宅困難区域とは	<p>停電による冷却装置の停止。  復旧はさせたが、いまだに原因は特定できないようです。  放射線量だけでなく、今回の様な事態がありうるという事を含めて「帰宅困難区域」というのでしょうか。  原発周辺の「区域の見直し」について真意を明確に示してほしい。</p>	1	HP